



◀ 第4工区の除雪状況。雪の量が多く、迅速な交通の確保が求められる。

今回は、実際に重機を使って除雪に当たられている「除雪オペレーター」の方にお話をお聞きしました。

❶ 除雪ではどんなことに気を付けていますか。
 第一に安全な作業を心がけています。私も雪国で生活する者として、雪での苦労は理解しています。だからせめて道路だけでもきれいに除雪を

雪と生きる

シリーズ8

市道除雪第4工区
 除雪オペレーター
 まこと 眞さん
 (鶴子4)

ツルケン株式会社。13トン級ドーザを操り、市民の冬の生活を支える。



❷ 雪が多いからこそ強い、除雪への思い。
 ❸ 除雪作業の流れを教えてください。

❷ 安全な通行を確保したいという思いがあります。
 ❸ 除雪をする上で困っている点は、安全な通行を確保したいという思いがあります。
 道路に雪を出したり、はみだしての駐車が除雪の支障になります。また、流雪溝の取手が出ていると、除雪機械に引っ掛かってしまいます。除雪作業中の追い越しは大変危険です。安全確認を充分行ってからお願いします。

雪国から

昨年度から市道除雪の状況を市のホームページに掲載しています。今年度からは全車両を確認できます。



会場には多くの方が訪れ、活気にあふれた。

今年の特別企画は、親子でミニ四駆づくり。お父さんの手ほどきを受け子どもたちは目を輝かせながらミニ四駆を完成させました。
 他にも踊りの披露や、おばなざわ花笠まつりフォトコンテストの表彰、元氣おばね商品券の販売等があわせて開催され、本市の魅力がまるごと詰まった2日間となりました。

10月7日、8日の2日間にわたって開催され、会場となったサルナートには両日ともに大勢の来場者が訪れました。

TOPICS 1

まるだし尾花沢ふれあいまつり

おばなざわ四大まつりのひとつ「まるだし尾花沢ふれあいまつり」は、市内商工団体の優れた技術や各団体の芸能等、本市の全てを広く紹介するまつりで、今年で17回目の開催。会場では、市内企業による生産技術紹介や職人による美演のほか、工芸品の手作り体験や化学実験のコーナーなどが設けられ、大人から子どもまで幅広い来場者が足を止めていました。また、昨年冬より通年通行となった国道347号線沿線の宮城県大崎市と加美町の観光や陶芸を紹介するコーナーも設けられ、両市町による観光PR等も行われました。



10月27日、加藤市長から辞令書を手渡された鈴木氏。

10月、2人の教育委員の異動がありました。

TOPICS 2

新しい教育委員



鈴木 瑞穂氏

10月1日付けで、東海林氏(野黒沢1)が教育委員に再任されました。2期目となる東海林氏は、10月27日付けで教育長職務代理者にも就任されています。

また、平成24年から教育委員を務められた田村より子氏(三日町)が10月26日をもって退任し、10月27日付けで新たに鈴木瑞穂氏(中町)が教育委員に就任されました。鈴木氏は「子どもたちが笑顔でのびのびと学べる環境を作っていくように精一杯頑張っていきたい」と抱負を語りました。教育委員は、教育行政の方針などのほか、教育に関する重要事項を協議し決定します。

元氣おばな尾花沢を 目指して

霜月になり、紅葉シーズンを迎えております。年の暮れが近づき「寒くなつて、雪降ってくるねわ。」という挨拶をよく聞くようになりました。少し早いかもしれませんが、今年はどうな1年だったかゆつくり整理するのもよいのではないのでしょうか。

1年が経つのはあっという間で、前と比べて時間が経つのが早くなつたと感じたことはありませんか？私もついこの間のことだと思っていたことが数年前だったりすることがありますが、そう感じるのには理由があるようです。それは、初めて体験することが多いと時間の流れを遅く感じるといえるので、例えば、子どもや若者は新たな体験が多いため時間の流れを遅く感じ、大人になって経験を積むと新たな体験が少なくなるため時間の経過を早く感じるのだそうです。「とき」が経つのはあっという間だからこそ、時間を有効活用して自分らしく生活したいものです。

私は、市長就任からこれまで、元氣な尾花沢にこだわったまちづくりを進めており、早いもので7年が経過しました。現在、地域の皆様と一緒に「元氣づくりの種」をまいて、「元氣の芽」を育てているところであり、地域ごとに様々な取り組みが行われております。今後も「元氣の実」を沢山収穫できるよう、地域の皆様と力を合わせてまちづくりに取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

市長 加藤 国洋

市長コラム

TOPICS 3

ふるさとCM大賞へ出品

今年度の(株)山形テレビ「山形ふるさとCM大賞」に出品する作品について、5月15日号市報で募集をしたところ、2作品の応募がありました。
 10月11日に開催した市民選考会の結果、ふるさとCM大賞に出品する作品は、地域おこし協力隊の林慶一さんが中心となって作成した作品に決まりました。市民選考会では19人が投票し、林さんの作品には11票が集まりました。
 ふるさとCM大賞の審査会は、12月中の月曜日、午後7時から放送される予定です。